

西小っ子だより

【校訓】 直く 正しく 美しく

たつの市立揖西西小学校
〒679-4023
たつの市揖西町住吉142番地
Tel 0791-66-0021
Fax 0791-66-2613
発行責任者 校長 新家 洋一

1.17に思う ～防災教育・避難訓練を行いました～

1月17日に避難訓練を行いました。私は、子どもたちが真剣に取り組み、素晴らしい態度で訓練に臨んでくれたことを大変嬉しく思いながら、28年前のことを思い出していました。

震災後1週間ぐらいたって、やっと神戸の友人たちに電話がつながるようになりました。その中の一人の状況を話してくれた際のととても興奮した声が、今も忘れられません。彼は、平素は冷静沈着という言葉がぴったりの人物で、それだけ大変な出来事だったのだと嫌でも伝わってきました。

2月には、避難所となっていた神戸のある小学校でボランティアとして活動しました。体育館や校舎の中は避難者でいっぱい運動場には仮設住宅が建ち並んでおり不便なことだらけでしたが、子どもたちはそんなことは気にもせず、スペースを見つけて歓声を上げて遊び回っていました。その様子に、避難者もボランティアも随分と元気づけられていました。

自衛隊が設置したテント風呂で入浴者への対応をした際、私と私のすぐ傍で火の番をしていた自衛隊員に高齢男性が話しかけてきました。遠く離れて暮らす息子が迎えに来てくれること、一緒に住もうと言ってくれていること等を嬉しそうに話されました。後で自衛隊員に尋ねると、風呂の日には必ずやってきて同じ話をされるそう。それが本当の話なのか願望なのかは分かりませんが、少なくとも毎回話を聞いてくれる自衛隊員が、その高齢男性の心の支えになっていることは分かりました。

ボランティア活動の合間、学生時代に住んでいた辺りに行きました。思い出の場所はすっかり変わり果てていて、「もしあの瞬間、ここに住んでいたら…」との思いが頭をよぎりました。当時は、私も私の身近な人たちも、便利で平穏な日々は当たり前にあるものだと思っていました。まさか神戸がこんなことになるとは思っていませんでした。

訓練が役立つ日は来ないにこしたことはありませんが、天災はいつ起きるか分かりません。災害時は、天候や時間帯、被害状況等を見て、その時々命を守るための最善な行動を考え、臨機応変に対応する必要があります。「もしも」の時に、揖西西の子どもたちが自分の命を自分で守ることができるように、また互いに支え、助け合うことができるように、今後も防災学習や訓練等を繰り返していきたいと思えます。



《1月17日(火)「避難訓練」》



職員室から

～揖西西小学校の教育方針等をお伝えします～



★西小っ子だより11月22日号でお知らせしたとおり、11月に第4学年において防災教育授業を行いました。兵庫県教育委員会発行の「指導の重点」に示されている「防災教育の充実」の項目の1つに「実践的な防災教育の推進」があり、当日の授業では、災害時に身を守る方法とその対策の1つとして、非常持ち出し袋に何を入れるか話し合いました。食料や水がたくさん必要だと考えて実際に袋に入れて背負ってみたら重すぎて運べないというようなこともあって、まず自分たちで考え、体験をとおして確かめていく実践的な防災教育授業となりました。上段「1.17に思う」にも記載しましたが、「防災・命を守るための行動や準備」についての学習は今後も継続して参ります。ご家庭でもぜひ、お子さまの学習を機会に話し合ってください、親子で防災についての学びを進めていただけたらと存じます。



《11月30日(水)「学級防災授業」》

★学校とPTA理事会で、「西っ子手帳」の内容を新年度に間に合うように見直しており、4月当初にお示しいたいと考えています。なお、「学校生活のきまり」にすぐに適用したいものがあり、1月23日(月)より以下のように致しますので、よろしくお願ひします。

・寒い時期の体育の授業において、体操服の上にトレーナー、ジャージの着用を可とします。但し、華美でないもので、安全上の理由からフード付きのものは不可とします。なお、運動量が増え、汗をかくような状況になった場合、ジャージ等を脱がせ、体操服で運動させることがあります。



今後の予定

～月行事予定表(別紙)とあわせてご覧ください～

★月 日()・日()は、多くの教員が出張のため、全学年 校時までの授業で、時 分一斉下校と致します。

★月 日()に授業参観及びPTA学級懇談会を予定しています。参観授業は 時 分から 時 分まで、授業に引き続き学級懇談会となります。ご多用のこととは存じますが、よろしくお願ひします。



《12月13日(火) 児童会集会活動「秋祭り」》

「秋祭り」というには時期が遅くなってしまいましたが、「西っ子感謝祭」に引き続き、健康の森を会場にして子どもたちだけで開催しました。掲示委員会がまとめてゲーム屋を開いたり、6年生が水墨画体験コーナーを設けたり、和太鼓を打ち鳴らし手作りの神輿を練ったり、和装をしたり、その他にもアイデアいっぱい楽しい活動が行われました。



《12月21日(水)・22日(木) 6年「小小連携交流」》

同じ龍野西中校区の龍野小学校6年生と学級が、揖西東小学校6年生と学級が、それぞれ国語科の「日本文化を発信しよう」で作成したパンフレットを基に、タブレット端末を使ってMeetで交流を行いました。モニター越しに相手校の児童と対面する形で、互いの発表を聞き合い感想を述べ合いました。



《1月13日(金) 5・6年「能・狂言鑑賞会」》

能楽協会のみなさまに来校いただき、狂言「柿山伏」と能「羽衣」を鑑賞しました。初めて実際に見て、子どもたちは、独特の動きや台詞に感心したり、舞や音楽の迫力に感動したりしていました。日本の伝統芸能に触れることができて、大変よい経験となりました。



《表彰》～受賞者のみなさん、おめでとう(敬称略、数字は学年)～

★JA共催小・中学生書道コンクール

[半紙の部] ※

努力賞: . . .

[条幅の部]

努力賞: . . .

★税のポスター

兵庫県納税貯蓄組合総連合会優秀賞:

★家族へ思いを届けようプロジェクト2022

奨励賞: . . .

★子ども会「新春かるた大会」

優勝: . . .

優勝まであと一歩で賞

チームワークがよかったです賞

敢闘賞: . . .

1月14日(土)、揖西西かるた愛好会のみな

さまの協力の下、中学生の参加(オープン参加)もあり、3年ぶりに開催できました。



★第32回兵庫県スポーツ少年団総合競技大会

準優勝: 揖西西SSD (サッカーの部)

揖西西SSDは本校児童が中心となって構成されているサッカーチームです。県で2位と素晴らしい成績を収めました。

※「歯・口の健康に関する図画ポスターコンクール」

11月22日号に記載の入賞者の受賞名について、以下のとおり連絡がありましたのでお知らせします。

兵庫県教育長賞:

兵庫県歯科医師会会長賞:

今月の詩 — ぜひご家族と一緒に、お読みください

奈々子に

赤い林檎の頬をして
眠っている 奈々子。

お前のお母さんの頬の赤さは
そっくり

奈々子の頬にいつてしまつて
ひところのお母さんの

つややかな頬は少し青ざめた
お父さんにも ちよつと

酸っぱい思いがふえた。

奈々子

お父さんは お前に
多くを期待しないだろう。

ひとが
ほかからの期待にこたえようとして

自分な
自分を駄目にしてしまうか

お父さんは はっきり
知ってしまったから。

お父さんが

お前にあげたいものは
健康と

自分を愛する心だ。

ひとが
ひとでなくなるのは

自分を愛することをやめるときだ。

吉野 弘

自分を愛することをやめるとき

ひとは
他人を愛することをやめ

世界を見失ってしまう。

自分があるとき

他人がある

世界がある。

お父さんにも

お母さんにも

酸っぱい苦勞がふえた。

苦勞は

今は
お前にあげられない。

お前にあげたいものは
香りのよい健康と

かちとるにおづかしく
はくおむにおづかしい

自分を愛する心だ。

作者が、自身の生まれたばかりの娘さんに向けて書いた詩です。「自分を愛することをやめるとき／ひとは／他人を愛することをやめ／世界を見失ってしまう。」のフレーズが、とても印象的です。みなさんも、ぜひ、「自分を愛する心」をしっかりと持って生きてください。

作者のオリジナル表現です。ふつうは「むずかしく」、「むずかしい」。